

●

乳がんの手術を受けられる方へ

●



YAMAKAWA BREAST CLINIC

医療法人 乳和会

やまかわ乳腺クリニック

〒780-8081 高知市若草町15番45号 TEL 088-844-3301 ・ FAX 088-844-3352

<http://www.yamakawa-nyusen.jp>

●乳がんってどんな病気？

●乳腺組織の周囲のようす

乳房は鎖骨、胸骨、肋骨と腕の骨(上腕骨)を結びつける大胸筋という筋肉の上
にのっています。

大胸筋の下には、肋骨と肩甲骨を結びつける小胸筋があります。

小胸筋の下の脇(わき)にあたるところには、リンパ節がたくさんあります。リンパ
節とは、血管外にある体液(リンパ液)を集め血管へ戻す、体にとっての関所のよ
うなところ です。

●乳腺組織の構造と乳がんの関係

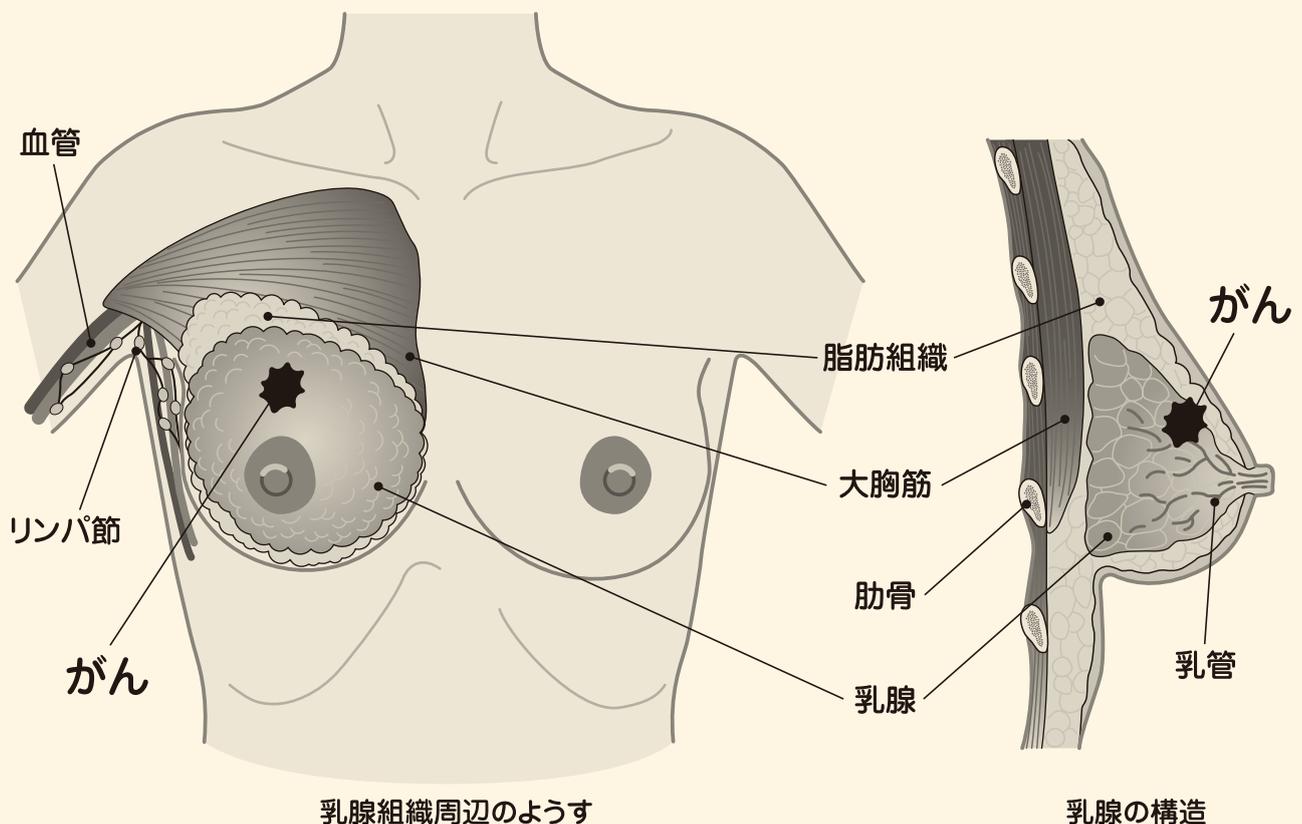
乳がんの多くは「しこり」で見つかります。

「しこり」はがん細胞が集まったものです。

乳がんは、母乳を作る小葉組織や母乳を乳頭まで運ぶ乳管組織より発生します。

これらの組織を構成する細胞の遺伝子に変異が起こりがん細胞になります。がん
細胞は分裂を繰り返して増殖し、小葉や乳管を破壊し周囲の脂肪組織まで進展し
て「しこり」を作ります。

さらに進行すると、血管やリンパ管を侵しリンパ節や他の臓器に飛び火(転移)を
起こします。



●診療の流れ

●乳腺検査の流れ



異常があれば

細胞診

「しこり」の細胞を採取して顕微鏡で直接観察し、良性・悪性の鑑別をする検査です。当クリニックでは、エコーを見ながら針としこりの位置を確認して細胞を採取しています。

さらに詳しく調べる時は

針生検

マンモトーム生検

なお、精密検査が必要な方は

胸腹部CT

骨シンチ

乳房MRI

●初期治療

乳がん

がんのタイプによって薬を選ぶ「個別化医療」を主体としています。

全身治療 (薬物療法)

抗がん剤

ホルモン療法

分子標的療法

局所治療

乳房温存手術

乳房切除術

放射線療法

※「胸腹部CT」「骨シンチ」「乳房MRI」などの検査は当クリニックより、国立高知病院へ予約をいたします。

●乳がん手術について(手術方法の選択)

「乳房温存療法」は乳房温存手術と温存乳房への手術後の放射線照射のことをいいます。欧米でも日本でも乳房温存療法は、乳房切除術と同等の治療成績であることが確認されています。

しこりが大きく乳房温存手術が難しい場合でも手術前に薬物療法を行い、しこりが小さくなれば乳房温存手術が可能になる場合もあります。

手術はいずれも全身麻酔のもと、2～3時間程度で行われます。

翌日からは歩いてトイレに行けます。食事も自分で摂れます。

手術直後は腕が少し動かしにくいかもしれませんが、元に戻ります。

喫煙中の方は禁煙のコントロールをしてください。

歯磨きなど、口腔内のケアに努めてください。

●手術方法の比較

	乳房温存手術	乳房切除術
麻酔	全身麻酔	
手術方法	がんを含めた乳腺の一部を切除。 脇の下のリンパ節を摘出。	乳房の全体を切除。 脇の下のリンパ節を摘出。
術後の治療方法の決定	術前の針生検の結果と術後21日目前後にわかる術後の病理組織検査結果を参考にします。ご家族の方にも一緒に説明します。	
放射線療法	残した乳房に約18～25回程度放射線で治療します。	原則必要ありません。(※場合によっては行うこともあります)
術後薬物療法	再発を防ぐための治療としてホルモン剤・抗がん剤・分子標的薬を使用することがあります。	
治療成績	乳房温存手術では残した乳房内での再発が皆無ではなく(約4～5%)、再発すれば乳房切除などの再手術が必要となりますが、治療成績(生存率)には差はありません。	
手術後の入院予定日数	①乳房温存手術+センチネルリンパ節生検：3泊4日 ②乳房切除術(ドレーン2本挿入)+センチネルリンパ節生検：7日 ③乳房温存手術 リンパ郭清+(ドレーン1本挿入)：7日～10日 ④乳房切除術+リンパ郭清(ドレーン2本挿入)：7日～10日	

※腫瘍径5cm以上あるか、リンパ節転移が4ヶ以上の方は放射線治療が必要です。

●術後合併症

●術後に起こるリンパ浮腫を予防する方法

乳がんの手術の中でも、「腋窩リンパ節郭清」という手術を受けた患者さんは、リンパ管がわきの下で寸断された状態になっているため、腕からのリンパ液の流れが悪くなり、浮腫(むくみ)が起こりやすくなります。多くは一時的なものですが、ときには数年経ってから発生することもあります。

通常、リンパ管が寸断されると、体内ではリンパ液の回り道(副行路)が発達して、リンパ液の流れを何とか補おうとします。この回り道を含めたリンパ管を活発に働かせ、リンパ液の流れをよくすることがリンパ浮腫を防ぐことにつながります。リンパ浮腫対策は、普段から少しずつ、長期間にわたり行うことが重要です。マッサージや軽い運動など、日常の心がけでかなり防ぐことができますので、下の表を参考に、無理のない範囲で取り入れてください。

■リンパ浮腫の予防と治療

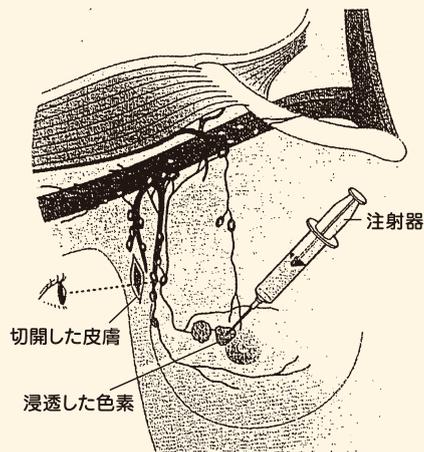
腕を高い位置に上げる	夜寝るときは、枕やクッションなどで患部側の腕を心臓より高くする。
マッサージ	心臓の方向へ軽くさするようにする。まずわきの下を心臓方向へ向けてマッサージし、順次末端のマッサージに移る。腕だけでなく体全体に行う。特に入浴後が効果的。
腕を軽く動かす	手を上げてブラブラと振るなど、無理のない範囲で。振り回しすぎは逆効果。水圧のかかる入浴中やプールで行うのもおすすめ。
弾性スリーブや包帯を腕に巻く	いったんリンパ液を抜き、その状態を維持するのに用いる。
太らない	脂肪がリンパ管を圧迫して、リンパ液の流れを悪くする。
感染症を防ぐ	切り傷・引っかき傷・虫刺されなどの外傷で化膿させないように注意。
スキンケア	●きつい下着や衣服を避ける。 ●注射や採血はもう片方の腕で。 ●熱い風呂やシャワーは避ける。 ●水虫・タコ・ウオノメに注意。
腕を酷使しない	長時間重いものを持ったり、翌日まで腕に疲れが残る運動は避ける。

ちょっと豆知識

●センチネルリンパ節生検

1. センチネルリンパ節(見張りリンパ節)とは、腫瘍からのリンパ流が最初に到達するリンパ節をさし、乳がんが転移する場合に、最初に転移するだろうと推定されるリンパ節です。
2. このリンパ節を摘出して、病理学的に検索し、転移の有無を判定することを「センチネルリンパ節生検」と呼びます。
3. 臨床的に所属リンパ節転移を認めない症例が適応となり、センチネルリンパ節に転移がなければリンパ節郭清を省略することを目的としています。
4. センチネルリンパ節生検には、色素法(当院)とRI(ラジオアイソトープ)法、両者の併用法があります。いずれも手術前に腫瘍周囲あるいは乳頭周囲にRI(99mTc:テクネチウムを標識するフチン酸またはスズコロイド)や色素(インジゴカルミン、ICG、パテントブルーなど)を注入し、センチネルリンパ節を同定します。

当院のセンチネルリンパ節の同定



●乳がんと遺伝について

乳がんの大部分は遺伝は関係しないと考えられていますが、5～10%は遺伝性であるといわれています。

患者さんの血縁者の中で複数の方に乳がんや卵巣がんが発症する「がんの家族歴」が見られる場合があります。こうした家族歴がある方は遺伝的素因が関与している可能性があります。

具体的には

1. 患者さん本人を含めて母、姉妹、娘などの身内に乳がんになった人が3人以上いる。
2. 患者さん本人を含めて母、姉妹、娘などの身内に乳がんになった人が2人以上いて、いずれかが以下の基準を満たす場合。
 - ✓ 40才未満での乳がん発症
 - ✓ 両側乳房の乳がん発症

などの基準があり、これらの基準を満たす方の一部で生まれつき乳がんや卵巣がんになりやすい遺伝子変異を持っている方がいます。これらの遺伝子変異としてBRCA1/2といわれる遺伝子の変異がよく知られています。この遺伝子変異を持っている方は通常の方より数十倍のリスクで生涯のうちに乳がんや卵巣がんになるとされており、通常より若い年齢で乳がんになったり、乳がんに罹患し治療が終わった後でも再び新たな乳がんになる可能性が高いといわれています。また卵巣がんになる確率も上昇します。

BRCA1/2の遺伝子変異を持っていることが分かれば通常より若い年齢から密な検診をして早期発見に努める必要があります。

BRCA1/2の変異があるかどうかは血液検査で調べるのが可能ですが現在保険適応はなく自費での検査になり、検査を受けるに当たってはご本人、可能であれば親族も含めたカウンセリングを受けていただく必要があります。まずはスタッフまでご相談ください。

●不安について

ほとんどの人にとって、がんは初めての経験であり、不安になったり戸惑ったりするのは正常な心の反応です。不安は誰かに聞いてもらえることで軽くなることもありますので、一人で抱え込まず、医療スタッフやご家族など周囲の人に話してみましよう。



●セカンドオピニオンとは？

担当する医師以外の意見を聞くことのできる制度です。
この場合の意見とは、

- ① 診断の確認
- ② 治療方針の確認
- ③ その他の治療方法の確認とその根拠

を聞くことです。

緊急時

- 平日(9時～18時)・土曜日(9時～15時)は、やまかわ乳腺クリニックへお電話下さい。
- 夜間・休日は、やまかわ乳腺クリニックへ電話し、緊急電話番号を確認の上、お電話して下さい。
- どうしても山川医師と連絡が取れなければ、手術のため入院した病院へご連絡ください。
 - ① 高知西病院：外科医師
 - ② 国立高知病院：呼吸器外科医師

【注意】上記の病院へ連絡するときは、必ず現在やまかわ乳腺クリニックへ通院しており、貴院にて手術したことをお伝えください。



YAMAKAWA BREAST CLINIC

<http://www.yamakawa-nyusen.jp>